

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

平成 9 年 6 月 18 日 改訂

平成 21 年 1 月 10 日 更新

1. 製造者情報

【会社名】株式会社 オーデック

【住所】東京都大田区東馬込 2-19-10 第 7 下川ビル

【担当部門】エアゾール製品担当部

【電話番号】03-3774-5259 【FAX 番号】03-3776-0881

【緊急連絡先】03-3774-5259 / 03-3771-6803

2. 製品名 スライドコート

3. 製品仕様 エアゾール

4. 物質の特定

【単一製品・混合物の区別】 混合物

【化学名】 P T F E 分散体とジメチルエーテル (DME) の混合物

【成分、含有量及びその他情報】

フッ素樹脂 (PTFE) >5%【化学式】 $-(CF_2-CF_2)_n-$ 【官報公示整理番号】 化審法:6-939 【CAS】 9002-84-0イソプロピルアルコール <20%【化学式】 $(CH_3)_2CHOH$ 【官報公示整理番号】 化審法:2-207 【CAS】 67-63-0 【国連分類/番号】 1219酢酸エチル <13%【化学式】 $CH_3COOC_2H_5$ 【官報公示整理番号】 化審法:2-726 【CAS】 141-78-6 【国連分類/番号】 1173セロアセテート >2%【化学式】 $CH_3COOC_3H_7$ 【官報公示整理番号】 化審法:2-727 【CAS】 109-60-4 【国連分類/番号】 1276トルエン <1% 【PRTR 法】 第 1 種 No. 227 該当【化学式】 $C_6H_5CH_3$ 【官報公示整理番号】 化審法:3-2 3-60 【CAS】 108-88-3 【国連分類/番号】 1294酢酸メチル <4%【化学式】 $CH_3 \cdot COO \cdot CH_3$ 【官報公示整理番号】 化審法:2-725 【CAS】 79-20-9 【国連分類/番号】 1231酢酸イソプロピル <4%【化学式】 $CH_3COOCH(CH_3)_2$ 【官報公示整理番号】 化審法:2-727 【CAS】 108-21-4 【国連分類/番号】 1220バインダー・その他 >1%

【化学式】 — 【官報公示整理番号】 — 【CAS】 — 【国連分類/国連番号】 —

ジメチルエーテル (DME) >50%【化学式】 CH_3OCH_3 【官報公示整理番号】 化審法:2-360 【CAS】 115-10-6 【国連分類/番号】 1033

5. 危険・有害性の分類

【分類の名称】 引火性液体・急性毒性物質及び高圧ガス

【危険性】 火災・爆発性 原料に用いている IPA・酢酸エチル・セロアセテート・トルエン・酢酸メチル・酢酸イソプロピルは引火性を有する液体であり、噴射剤に使用しているジメチルエーテルは容易に爆発する。

【有害性】 有毒性 蒸気は目、鼻、咽喉を刺激し、麻酔作用がある。短時間に高濃度の蒸気を多量に吸入すると急性中毒を起こす。

【環境影響】 データがありません。

6. 応急措置

【皮膚に付いた場合】 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部位を多量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は医師の手当を受ける。

【目に入った場合】 直ちに清浄水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。

【吸入した場合】 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。

【誤飲した場合】 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

7. 火災時の措置

【消火方法】 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。又、延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物などの冷却をする。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

【消火剤】 粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、泡（アルコール）が有効である。

8. 漏洩時の措置
- ・ 風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着荷源となるものを速やかに取り除く、作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。
 - ・ 少量の場合は漏洩した液は土砂等で吸着させさせて空容器に回収し、そのあとを多量の水で洗い流す。
 - ・ 大量の場合は、漏洩した液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、出来るだけ容器に回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。
 - ・ この場合、河川等に排出されないように注意する。

9. 取扱及び保管上の注意

【取扱】 ・ 吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。

- ・ 高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。
- ・ 静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
- ・ 換気に注意して、有機ガス用防毒マスク等を着用する。
- ・ 小児の手の届かないところで取り扱うこと。

【保管】 ・ 吸湿性。密封。冷乾燥場所に保管すること。火災下容器爆発することがある。

10. 暴露防止措置

【管理濃度】 —

【許容濃度】

| \ | セロアセート | イソプロピルアルコール | 酢酸エチル | 酢酸イソプロピル | 酢酸メチル |
|----------------------|--------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| ACGIH (91年～92年) | | | | | |
| T L V - T W A | 200ppm 835mg/m ³ | 400ppm 983mg/m ³ | 400ppm 1,440mg/m ³ | 250ppm 1,040mg/m ³ | 200ppm 606mg/m ³ |
| T L V - S T E L | 250ppm 1,040mg/m ³ | 500ppm 1,230mg/m ³ | | 310ppm 1,290mg/m ³ | 250ppm 757mg/m ³ |
| 日本産業衛生 学会勧告値(92年) | 200ppm 830mg/m ³ (暫定値) | 400ppm 983mg/m ³ | 400ppm 1,400mg/m ³ | 設定されていない | 200ppm 610mg/m ³ |
| OSHA PEL TWA | 200ppm | 400ppm | 400ppm | 250ppm | 200ppm |
| MSHA TWA | 200ppm | 400ppm | 400ppm | 250ppm | 200ppm |

【設備対策】 安全管理・ガスの検知 測定機：可燃性・有毒ガス測定機、可燃性ガス警報機
 検知管：アルコール用、酢酸エチル用
 貯蔵上の注意 火気厳禁、直射日光を避け冷暗所に保管
 保護具 防毒マスク(有機ガス用)、保護メガネ、不浸透性の手袋

11. 物理／化学的性質

【外観】 淡黄色の揮発性の液体 【臭い】 有機溶剤臭 【比重】 0.870(20℃)*原液として
 【引火点】 -41.1℃ *DME 【発火点】 350℃ *DME 【沸点】 -24.9℃ *DME 【蒸気圧】 -
 【初留点】 - 【溶解度】 有機溶剤に可溶 【エアゾール缶の製品圧力】 4.0±0.5kg/cm³(25℃)

12. 危険性情報

【原液】 引火点： -15℃ 発火点： 測定データなし
 爆発限界(上限)： 測定データなし (下限)： 測定データなし
 可燃性： 有り(引火性液体) 発火性(自然発火性、水との反応性)： なし
 酸化性： なし 自己反応性・爆発性： なし
 加熱・燃焼： 危険性有り(引火爆発を起こす。燃焼により有毒ガスが発生する。)
 混触等： 危険性有り(酸化剤、無機酸類と危険な反応がある*イソプロピルアルコールの特性)
 【噴射剤】 引火点： -41.1℃ 発火点： 350℃
 爆発範囲： 3.4～18 vol.% (2.0～50 vol.%:IMDG)
 可燃性： あり 発火性(自然発火性、水との反応性)： なし
 酸化性： なし
 混触等： 危険性有り(水素化アルミニウムリチウムLiAlH₄、水素化アルミニウムAlH₃と激しく反応する。)

13. 有害性情報

【皮膚に触れた場合】 刺激がややある。
 薬傷を負うことがある。

【眼に入った場合】 角膜を侵す。

【吸入した場合】 蒸気は麻醉性粘膜刺激性作用がある。

短時間に多量の蒸気を吸入すると急性中毒を起こす。

刺激性

| イソプロピルアルコール | セロアセテート | 酢酸イソプロピル | 酢酸メチル |
|--------------------|----------------------|-----------------|-------------------|
| ラビット 500mg:MILD | ラビット 500mg open:MILD | ラビット 500mg open | 500mg/24:MODERATE |
| ラビット 10mg:MODERATE | | | 100mg/24:MODERATE |

急性毒性

| イソプロピルアルコール (RTECS) | | | 酢酸エチル | | | 酢酸メチル | | |
|------------------------|------|--------------|-------|------|-------------|-------|------|--------------|
| ◇吸入毒性 | | | ◇吸入毒性 | | | ◇吸入毒性 | | |
| マウス | LCL0 | 12,800ppm/3H | マウス | LCL0 | 31g/m3/2H | マウス | LCL0 | 34g/m3/4H |
| ラット | LCL0 | 12,000ppm/8H | ラット | LC50 | 1,600ppm/8H | ラット | LCL0 | 32,000ppm/4H |
| ◇経口毒性 | | | ◇経口毒性 | | | ◇経口毒性 | | |
| マウス | LD50 | 3,600mg/kg | ヒト | TCL0 | 400ppm | ラット | LD50 | 5,450mg/kg |
| ラット | LD50 | 5,045mg/kg | マウス | LD50 | 4,100mg/kg | ラビット | LD50 | 3,705mg/kg |
| ラビット | LDL0 | 10mg/kg | ラット | LD50 | 5,620mg/kg | | | |
| イヌ | LD50 | 4,797mg/kg | ラビット | LD50 | 4,935mg/kg | | | |
| ヒト | TDL0 | 223mg/kg | モルモット | LD50 | 5,500mg/kg | | | |
| | LDL0 | 3,570mg/kg | | | | | | |

14. 環境影響情報

- 【分解性】 測定データなし
- 【蓄積性】 測定データなし
- 【魚毒性】 測定データなし

15. 廃棄上の注意

- ・事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、(処理する場合は条例などに基づいて処理して下さい)又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 ・投棄禁止
- ・エアゾール缶としては、使いきって捨てること。
- ・これを含む排水は油水分離、活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない

16. 適用法令

- ・労働安全衛生法 施行令別表第6の2有機溶剤(第2種有機溶剤)*イソプロピルアルコール/酢酸エチル
施行令別表第1危険物(引火性のもの)*イソプロピルアルコール/酢酸エチル/セロアセテート
施行令第18条名称等を表示すべき有害物*イソプロピルアルコール/酢酸メチル/トルエン

- ・ 消防法 第 2 条 危険物第 4 類 アルコール類 (400L)*イソプロピルアルコール
第 2 条 危険物第 4 類 第 1 石油類 非水溶性液体 (200L)*酢酸エチル/セロアセート
/酢酸イソプロピル/トルエン
- ・ 毒物及び劇物取締り法 第 2 条 別表 第 2 劇物*酢酸エチル/トルエン 注:本製品としては適用外
- ・ 高圧ガス取締り法 第 2 条 (液化ガス)一般高圧ガス保安規則 第 2 条 (可燃性ガス)*DME
- ・ 航空法 施行規則 第 194 条 告示別表 第 2 高圧ガス D-旅客禁止*DME
施行規則 第 194 条 告示別表 第 3 引火性液体 G-等級 2*IPA
/酢酸エチル/セロアセート/酢酸メチル/酢酸イソプロピル/トルエン
- ・ 港則法 施行規則 第 12 条 危険物 告示 高圧ガス*DME
施行規則 第 12 条 危険物 告示 引火性液体類*イソプロピルアルコール/酢酸エチル/セロアセート
/酢酸メチル/酢酸イソプロピル/トルエン
- ・ P R T R 法 第 1 種 No. 227 該当物質 トルエン 【CAS】 108 -88-3 含有量:1製品あたり 4ml

17. その他

文献：危険物データブック : 消防庁警防研究会 (昭和 63 年)

産業中毒便覧

1 2 0 9 3 の化学商品 : 化学工業日報社発行

化学品安全管理データブック : 化学工業日報社発行

適用法規総覧 : 化学工業日報社発行

化学便覧基礎編 : 日本化学会編

毒物及び劇物取締り法令集 : 薬務公報社

記載内容の問い合わせ先： 化成品課 T E L : 0 3 - 5 7 1 8 - 7 4 2 5

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い申し上げます。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。